

ABCI 3.0開発加速利用（2024年度）成果概要（公開用）

課題名：キャリア構成ポートレート生成モデルの開発	実施時期：2025年3月 所属機関名：一般社団法人ライフデザインカウンセリング研究所 代表者氏名：水野 崇
成果概要： 特定のキャリアカウンセリング技法の用途において、少量データによる学習済みモデルの知識獲得およびタスク適応の可能性が示唆された。	
成果のポイント： 我が国は高齢化社会を迎えて、ますます長期のキャリアパスと、その支援の充実が求められている。企業や行政機関などでキャリア相談の専門家の配置に取り組んでいるものの、支援技術の養成には一定の時間が必要とされる。 そこで本研究では、キャリアカウンセリングの技法のうち、Savickasの提唱した「キャリア構成インタビュー」に注目して、専用モデルを開発することとした。この技法は、相談者の問題や背景にある生い立ちの自己語りをカウンセラーが聞き取り、文章（ライフポートレートという）を用いて相談者にかかわることで内省を促すものである。今回、開発した生成モデルが一人前のカウンセラーに相当するポートレートを提供することで、カウンセリングの質の向上や、新人カウンセラーの訓練に貢献することが期待される。 開発手順のイメージ <pre>graph LR; A["学習済みモデル LLaMA3.1(13B*) および Gemma2(27B)"] --> B["継続事前学習 少量の書籍データによるド メイン適応"]; B --> C["スーパーバイズド・ ファインチューニング 人力 + 合成データによるタ スク学習"]; C --> D["評価 キャリア専門家による生成 された文章の評価"]</pre> データ処理やモデルの学習に必要な環境整備を目的とした予備実験には、Meta社が公開するオープンソースの大規模言語モデルであるLlama3.1（13B）を用いた。また、本実験にはGoogle社のGemma2（27B）を用いて、継続事前学習及びスーパーバイズド・ファインチューニング（Supervised Fine-Tuning）を実施した。各手順において、学習終了時にモデルの出力（予測）と、正解ラベル（教師信号）との誤差の大きさである損失値は低く安定したことが確認された。 * B = Billion = 10⁹	
成果についてより詳細な情報を提供しているWebページ、発表論文などの情報： 本研究は、2025年の6月に開催されるNational Career Development Association.（全米キャリア開発協会）の大会にて発表を予定している。 全米キャリア開発協会： https://www.ncda.org/aws/NCDA/pt/sp/home_page 発表タイトル（URL）： Collaborative AI in Career Construction Interviews can Advance Human-Centered Counseling (https://www.ncda.org/aws/NCDA/pt/sp/conference_agenda)	